

第31回 令和7年5月29日（木）

「学校教育のビジネスチャンスについて。」

公立学校の校長というのはそんなに長い期間一つの学校にいられるわけではないので、学校はどうしても古いものや慣習が引き続き残っています。だからこそ、民間企業がコラボすれば結構ビジネスチャンスが生まれるのではないかと感じています。

私はWIN-WINを探してみることが好きなのですが、今日はその一つとして修学旅行。楽しみにしている生徒も多いですし、一生に一度の思い出です。ぜひ充実させたいという思いが教員にあります。

一方で燃料費や宿泊費の高騰、物価高もあり、ご家庭の負担を無制限に増やすわけにもいきません。仲介にはいる旅行社も大変だと思います。

さてその中で、例年観光客を誘致したい地方の役所の方がプレゼンに訪れて、観光地のPRをすることがあります。もちろん魅力的なコンテンツも多いのですが、どうしても最後は有名な場所（USJなど）に人気が偏ってしまいます。

そこで一つプランとして、その地方の代表的農産業や看板企業とコラボするのはどうでしょうか。探究学習に頭を悩ます学校も多いと思いますが、農産物の加工販売や企業の商品開発、PR、観光地へのインバウンド誘致などを高校生に探究でやらせてみる、そのようなプログラムを通年で組んだらどうでしょう。

修学旅行のプログラムの中に自分たちがつくった農産物の加工品を道の駅で販売するとか、自分が開発した商品を工場で組み立てるとか、インバウンドで企画に参加してくれた外国人の方をホテルでもてなすとか、そのような実習体験を組み込みます。

もしかしたら卒業後も経験した仕事に携わってみたいと思う生徒もいるかもしれませんし、地元の協力で商品が売れてくれれば企業にも利益があり、地元の観光客誘致にもつながります。

「修学旅行の通年企画化による地方活性化」プランで、探究に悩む学校も、人を呼びたい地方も、商品販売につなげたい企業も、PR効果もあり結構面白いと思うのですが。

こんなふうに学校を良くしたい「学校コンサルティング」に結構ビジネスチャンスがあるのではないかと思っています。また思いついたことを書きたいと思いますが、アイディアはとりあえず自由に無責任に書いています。どこかで支障があったらただの空想ですからご容赦ください。